

不安に導かれて

第九回

文・藤紗快之

「高良興生院で学んだこと」

自己実現ということについても、従来自分は余りにも完全を望み過ぎていたと知り、焦らず自分に合った道を自分で選びたいと思うようになりました。

自主性についても、これがいかに大切であるか知りました。

それまで長い間、間違っただしかたでの信仰に基づき、自分の「我」をなくする努力をしていたことの誤りを知り、自己の本心を大切にして、自発的に物事に取り組みたいと考えるようになりました。

間違っただ信仰のしかたにより、恐怖心をなくそうと努力して、前述の如く自分の潜在意識に「恐れない」「強いのだ」などのことばを言い聞かせていたのが、精神交互作用で、かえって恐れを助長していたことを知り、不安なままに信仰を棄てた（たしかにこの時は棄てたというにふさわしい異端者的な気分を味わいました）のでした。そしてビクビクハラハラのまま生活していくことの大切さを知ったのでした。

（続）